

修士学位論文提出要領（2026年秋季広域科学専攻修了予定者）

1. 修士学位論文提出資格

2026年9月末までに、本研究科で定めた修業年限以上在学し、所属専攻・系の授業科目16単位以上を含む30単位以上を履修して修得する見込みの者。

2. 学位論文題目届の提出（所定の様式は <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/master/index.html>）

（1）提出期間

専攻・系	学位論文題目届提出期間
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2026年 6月12日（金）～ 6月18日（木）

（2）提出場所

総合文化大学院チーム【オンライン提出】

提出サイト：<https://forms.gle/jvXRzA44ubGqdP4cA>（右のQRコード）



また、題目届の提出期間内に学務システム UTAS に論文題目を登録すること。

UTAS>PC版>論文管理タブ>論文題目事前登録

（3）受付時間（厳守）

6月12日（金）10:00～6月18日（木）16:00まで

※不備がある場合は、受理しない。また、提出期間後の学位論文題目届の差し替えは認められない。

（4）学位論文題目届は、所定の用紙に指導教員の承認の押印を受けて提出すること。なお、題目届を確認し、提出を許可する旨の指導教員の承諾メールを、題目届とあわせて提出することで、押印に代えることができる（承諾メールは送信者、受信者のメールアドレスが確認できるもの）。

自署欄以外は、パソコンで入力すること。

（5）学位記の氏名について

学位記の氏名は、学位論文題目届の氏名欄に記入した氏名をもとに作成するため、原則として戸籍簿等の記載のとおり**楷書で正確に**自署すること（自署でないものは受理できません）。漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、ローマン・アルファベット表記となる。なお、旧姓の表記を希望する場合や外国人学生（日本国籍を持つ多重国籍者を含む）で氏名の表記について特段の事情がある場合は、規則上の制限があるので個別に総合文化大学院チームの窓口へ相談すること。

外国人学生には、学位記のほかに「学位記の英文による証明状」を発行する。これに表記する氏名は、学位論文題目届に記入した英字（ローマン・アルファベット）表記による氏名をもとに作成する。スペルや姓・名・ミドルネームの順番等も記入したとおりの氏名で作成するため、特に、パスポート等に記載されている氏名と同じ表記を希望する場合は、留意すること。

英字表記による氏名を学位論文題目届に記入する際は、パソコンで入力すること。

（6）論文題目について、題目が日本語の場合はその英語訳を（ ）書きで必ず書き添えること。

また題目が英文の場合は活字体で記入し、その日本語訳を（ ）書きで必ず書き添えること。

（7）「生年月日」と「学位記に記載する生年月日の年号表記」（和暦/西暦）を統一すること。

3. 論文及び論文要旨の提出

(1) 提出期間

専攻・系	学位論文提出期間
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2026年 6月29日(月)～ 7月 1日(水)

(2) 提出場所

総合文化大学院チーム【オンライン提出】

学習管理システム UTOL (UTokyo LMS)上で、所属する系の以下の科目の課題としてアップロードすること。UTOL ログイン：<https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/login> (下のQRコード)

生命環境科学系：31M281-9999S 「修士論文」

広域システム科学系：31M282-9999S 「修士論文」

関連基礎科学系：31M283-9999S 「修士論文」



※上の科目について、学生による UTAS での履修登録、UTOL でのコース受講登録はいずれも不要(総合文化大学院チームにて登録)。

※上の科目は、各系の必修科目とは異なるので注意すること。

(3) 受付時間(厳守)

オンライン提出：6月29日(月)10:00～7月1日(水)16:00まで

※ 受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、**特段の理由がない限り受理しない。**
また、提出期間後の提出物の差し替えは認められない。

(注) ここで言う「特段の理由」とは、不慮の事故や災害、法律で指定された感染症等の急な発症など、通常予測不可能であり、かつ本人に責を帰すべき事由のいっさい存在しない場合に限られる。端末の故障、一時的なシステムやネットワークの不具合、重篤でない病気などは該当しない。

なお、「特段の理由」に該当すると思われる場合は、その事実を証明する文書を添付して指導教員に申し出ること。

(4) 指導教員の承認を受けてから提出すること。

(5) 提出書類等

ア) 学位論文提出届 **1部**

※所定の用紙は、総合文化大学院チームホームページ上から入手できる。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/master/index.html> (右のQRコード)

論文題目(英語訳も必ず記入すること)はパソコンで入力すること。

※氏名欄は自署に限る。



イ) 論文 **1部**

ウ) 論文要旨 **1部**

※イ)、ウ)について、専攻・系等より別途追加提出の指示がある場合は必ずその指示に従うこと(総合文化大学院チームへの提出分とは別に提出すること)。

※ファイル形式を全てPDFとし、各ファイル名に学生証番号と氏名を含め、各1部を提出すること。

4. 論文及び論文要旨作成要領

(1) 論文

- ア) 原則としてA4判とし、日本語及び英語いずれの場合もパソコンを使用すること。
- イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

(2) 論文要旨

- ア) A4判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本語の場合は4,000字以内を原則とする。図表及び化学記号等を用いる場合は、明瞭に記載すること。ただし、専攻・系において特別な指示がある場合は、その指示によること。
- イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 論文とは別ファイルにしてアップロードすること。

5. その他

- 授業料未納の者は、修了することはできないので注意すること。
- **所定の用紙**は、総合文化大学院チームホームページ上に掲載するので、学位論文題目届提出期間の前
に入手し、**余裕をもって準備すること。**
- 論文本体の表紙、論文要旨、学位論文提出届等の学位論文申請手続きに関する全ての書類について、
氏名の表記を統一させること。

「論文の表紙の作成例」

修 士 学 位 論 文

○○○○○○○○○○○○○○○○
(外国語の場合は, 日本語訳)

○○○年度
○○○○○専攻
○○○○○
○○○○○

← 論文題目を記入

← 提出年度
← 専攻(分野)・系名
← 学生証番号
← 氏名

「論文要旨の作成例」

論 文 要 旨

○○○○○○○○○○○○○○○○
(外国語の場合は, 日本語訳)

○○○○○専攻
○○○○○
○○○○○

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

← 論文題目

← 専攻(分野)・系名
← 学生証番号
← 氏名

← 下半分から要旨本文を記入する。